

(様式第4号)

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1 審議会名	第1回 上田市行財政改革推進委員会
2 日時	令和2年8月28日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	市役所本庁舎 6階 大会議室
4 出席者	増澤会長、岩木副会長、井上委員、倉寫委員、清水委員、鈴木委員 関委員、高橋委員、竹内委員、手塚委員、平田委員、増子委員、丸山委員 山極委員、吉池委員
5 市側出席者	土屋市長、中村総務部長、小林行政管理課長、小林行政改革担当係長 宮下主査、坂口主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	2人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和2年8月31日

協議事項等

1 開 会 (行政管理課長)
2 人事通知書の交付
3 市長あいさつ 本日は、大変お忙しい中、第1回上田市行財政改革推進委員会に御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。 新たに委員をお願いする5名の方を含めた15名の委員の皆様による第7期の行財政改革推進委員会をスタートすることが出来ました。 本委員会は、社会経済情勢の変化及び市民の多様化する行政需要に対応した、簡素にして効率的な市政の実現を推進するため、合併直後の平成18年に創設した委員会であり、これまでに、上田市の行財政改革の基本方針であります「行財政改革大綱の策定」、市が保有する公共施設の現状と課題等を整理した「上田市公共施設白書の策定」など、多くの答申や提言をいただいております。 現在、令和3年後からスタートする「第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画」の策定作業を進めているところですが、現行の行財政改革大綱も、令和2年度までを推進期間としておりますことから、今年度中に新たな「行財政改革大綱」を策定し、改革の不断の取り組みを行っていく必要があると考えているところでございます。 後ほど、あらためて諮問いたしますが、第7期の委員会では、この「第四次上田市行財政改革大綱」の策定を中心に、御審議を賜りたいと存じます。 委員の皆様には、それぞれのお立場で御活躍されており、大変御多忙であると拝察いたしますが、行財政改革の推進という重要課題に対しまして、更なる御指導とお力添えを賜りますことをお願い申し上げます。
4 委員自己紹介
5 事務局紹介
6 会長・副会長の選出 委員から、事務局案を求める旨の発言があったことから、第6期の委員会においても会長、副会長に就任していただき、行財政改革推進委員会の経験も豊富なことから、会長に増澤延男委員、副会長に岩木功委員とする事務局案を提示し、了承された。

7 諮問

土屋市長から、第7期上田市行財政改革推進委員会 増澤会長に「第四次上田市行財政改革大綱」の策定について、諮問された。

8 会長あいさつ

ただ今、土屋市長より、諮問をいただきました。

昨年の台風被害による影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行もあり、この感染症が上田地域の社会経済にもたらす影響は、その規模の面でも時間的にも、どの程度継続するのか、まだわからないところです。

そのような中で策定する「第四次上田市行財政改革大綱」は、人口減少社会における行政サービスや、将来的な公共施設のあり方など、大変に重い課題を考える場となると認識しています。

また、第二次上田市総合計画後期まちづくり計画において取り組むべき施策や、新たな行政需要に対応するための、まさに、上田市の行財政改革の基本方針となるべきものであると受け止めております。

いずれにいたしましても、市民の目線から見ましても、非常に関心のある問題でありますので、当委員会におきましても、諮問の主旨に則り、慎重に審議をさせていただきたいと考えております。

委員の皆様におかれましても、そのことを念頭に、ぜひとも、積極的かつ活発な御議論をいただきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

9 議事（進行 会長）

- (1) 委員会の役割について
- (2) これまでの委員会による（答申・提言）について
- (3) 上田市行財政改革大綱について
- (4) 今後の審議予定について

- ・資料に沿い、事務局から概要を説明
- ・以降、質疑

(委員) 審議会、協議会の議事録のホームページへの公開について、会議後何日で公開されるのか。

(事務局) 会議内容にもよるが、基本的には1か月以内にはホームページで公表する。

(委員) 委員就任にあたって、第1次から3次までの行政改革大綱を確認しようと図書館に行ったところ、第1次はあったが、2次、3次は保管されていなかった。上田市の計画書等の書類が、出来上がったから、市民の目に触れるまでが遅いという印象がある。是非、図書館へ置いていただきたい。

(事務局) 図書館に置かれていなかったというのは、こちらのミスなので改善する。

(委員) アクションプログラムの資料の中で、赤字になっている部分があるのだが、何を意味しているのか。

(事務局) 行財政改革大綱を作成した当初とは、担当課の名称が変更になっている箇所があるので、その部分については、赤字にしている

(委員) 今後、議論をしていく中で、財政に関する将来推計などの細かいデータが無いと、議論が深まらないのではないかと思う。公共施設についても収益性などのデータが無いと、我々が議論する材料が欠けてしまう。行財政改革を議論する中で、全体にとって何がベターなのかを判断する材料としてもそういったデータが重要であると思う。

また、資料のデータ送付やオンラインでの会議の開催についても検討をお願いしたい。

(事務局) 本日の会議については、初回ということで、コロナ禍の中、また御多忙のところ御参集いただきまして、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症感染者が増えている中で、メールでのデータのやり取りや、メールで御意見を伺うという方法についても、検討する必要があると感じている。また、御審議いただくために必要なデータは、関係課と調整した上で、可能な限り皆様に御提供したいと考えている。

(会 長) 答申までのスケジュールを考えると、状況によってはオンラインでの会議を実施するという
ことも必要になってくるのではないかと思う。

(委 員) 上田市では事務事業シートは導入しているのか。また、行政のデジタル化に関連して、スマート
シティづくりの取組みについてはどうか。

(事務局) 事務事業シートについては導入していないのが現状。

スマートシティ化は、情報システム課と政策研究センターで、8月中旬にスマートシティ化推進
計画を策定するための審議会を立ち上げたところ。皆様に御審議をいただく第四次行革大綱とも整
合性をとる形にしていきたいと思います。

事務事業シートに関して補足させていただくと、全ての事務事業が対象というのは難しいと思
うが、今後デジタル化が可能になりそうな業務については、場合によっては検討してまいりたい。

10 閉 会 (会 長)